

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

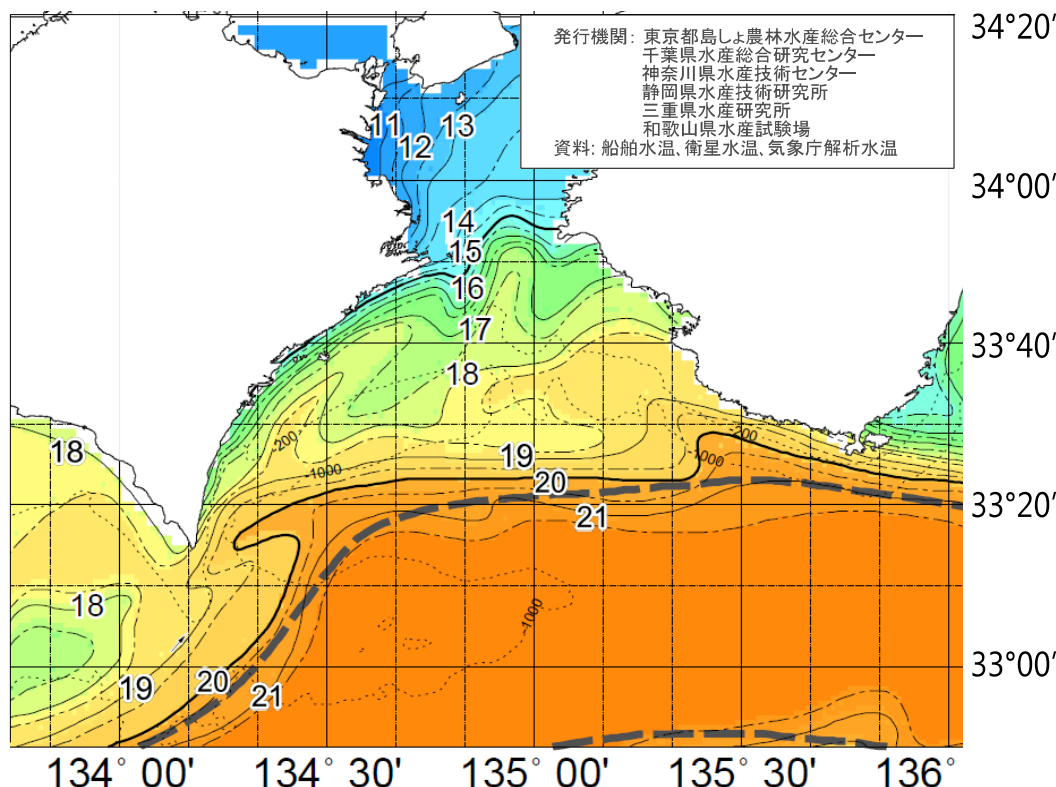
1. 周辺海域の水温

右に1月24日時点の海況図を示した。

黒潮の位置は、前号の17日時点から引き続き、室戸岬沖では「やや離岸」、潮岬沖では「接岸」で推移している。

黒潮本流の表面水温は平年よりやや高い21℃台となっている。

徳島沿岸の水温は、播磨灘で10℃台、紀伊水道で10℃～14℃台、海部沿岸で14℃～17℃台となっている。

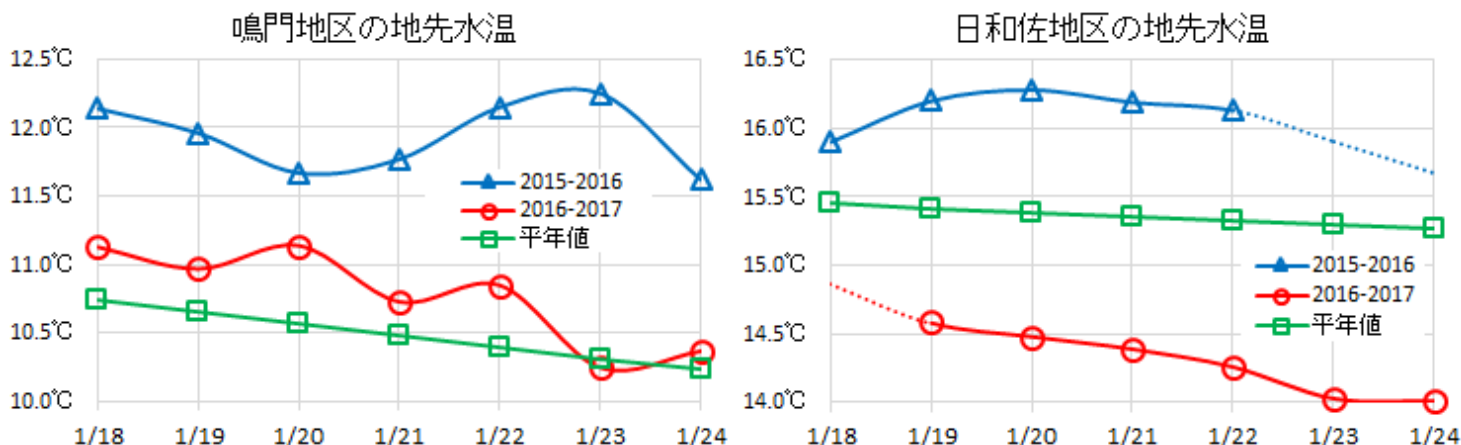


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(1月18日～1月24日)

鳴門地区の地先水温は、もっぱら「平年並み」の11.1℃～10.3℃で、20日のみ「やや高め」となった。

日和佐地区の地先水温は、「やや低め」の14.6℃～14.0℃で推移した。「やや低め」になったのは今年の4月2日以来。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上
※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(1月25日～1月31日)

黒潮は、室戸岬沖で引き続き「やや離岸」、潮岬沖は引き続き「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「平年並み」の10℃台前後、日和佐地区で「やや低め」～「低め」の13℃台で推移する見込み。

漁況

2017年1月16日～1月22日

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

標本漁協の船びき網は1月休漁。

釣りではマアジが特大主体に前週から増えて0.2ト水揚げされた。

延縄ではサワラが増えて1.1ト、タチウオが大きく増えて特大主体に0.9ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて小主体に0.7ト、マダイが大きく増えて小主体に0.6ト水揚げされた。

底びき網ではシリヤケイカ、タチウオがともに大きく増えて6.9トと3.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

釣りではタチウオが前週から特大が減ったものの大～小サイズが増えて0.8ト水揚げされた。

延縄ではシロサバフグが前週並みの0.4ト水揚げされた。

小型定置網ではカタクチイワシが前週並みの0.9ト、マアジが大きく増えて小主体に0.5ト水揚げされた。

大型定置網ではマアジが増えて小主体に2.9ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	釣り	14	マアジ	208	15	特大主体	↗
	延縄	64	サワラ	1,097	17		↗
		20	タチウオ	937	47	特大主体	↗↗
		49	シマフグ	669	14		↗
	建網	15	カワハギ	220	15	大主体	→
	小型定置網	20	マアジ	655	33	小主体	↗
		24	マダイ	643	27	小主体	↗↗
		26	カワハギ	495	19	大主体	↗
		13	ブリ	399	31		→
		21	ヒラメ	247	12		↗
		21	アオリイカ	224	11		↘↘
	底びき網	53	シリヤケイカ	6,898	130		↗↗
		46	タチウオ	3,059	67		↗↗
		46	サワラ	593	13	さごし主体	↗↗
		55	コウイカ	482	9	大主体	↗
		27	マダイ	329	12		↘
		32	モンゴウイカ	263	8		↘↘
34		すずき類	218	6		→	
海部沿岸	釣り	23	タチウオ	778	34		↗
	延縄	13	シロサバフグ	385	30	大主体	→
		32	キダイ	361	11	大主体	→
	小型定置網	19	カタクチイワシ	859	45		→
		23	マアジ	516	22	小主体	↗↗
		27	かます類	481	18		↗
		35	アオリイカ	314	9		↘↘
		13	マルアジ	266	20	小主体	↘
	大型定置網	10	マアジ	2,911	291	小主体	↗
			アオリイカ	234	23		→
		ブリ	226	23	ぶり主体	↗↗	
		ウスバハギ	204	20	大主体	↗↗	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘